

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 749 事業名 湊御殿管理運営事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		教育費
	項		社会教育費
	目		湊御殿費
	大事業		湊御殿事業
事項		湊御殿管理運営事業	

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	4	文化・スポーツの振興
施策	1	文化遺産の保護・継承
取組	2	文化遺産の公開と活用

事業種別	継続	主な事務事業	○
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	文化振興課	富松 真矢子 (435-1194)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」	「基盤力を磨く」	「観光力を磨く」	該当せず	○
コミュニティーの充実	メリハリある都市づくりの充実	史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	道路・公共交通網の充実	海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実	総合防災体制の充実	美味しい和歌山市イメージの充実		
その他	その他	その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	市指定文化財（建造物）湊御殿を適正に維持管理する。	庭園の維持管理。 建造物及び付属トイレの維持管理。 観覧料及び施設使用料の徴収。 （観覧料 一般100円、高校生以下は無料） （茶室使用料 9時～17時 20,000円） （庭園使用料 9時～17時 1,500円）				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		観覧者数 1,994人	観覧者数 1,143人	観覧者数 1,271人	観覧料を半額（一般100円）にするとともに、養翠園・和歌山城・旧中筋家住宅・市立博物館観覧者の湊御殿への入場を無料にし、入場者増をはかる。	

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	22,233	20,617	21,046	20,112	20,872	20,593	14,992			
	伸び率 (%)	-	-	-5.3%		-0.8%		-28.2%			-100.0%
	人件費	常勤職員	3,314	3,103	3,103	703	703	1,366	1,366		
		非常勤職員									
	小計	3,314	3,103	3,103	703	703	1,366	1,366			
	国庫支出金										
	県支出金										
	市債										
その他	726	498	726	207	678	411	371				
一般財源（税等）	21,507	20,119	20,320	19,905	20,194	20,182	14,621				
所要人数	常勤職員	0.43	0.4	0.4	0.09	0.09	0.18	0.18			
	非常勤職員										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	開場日数	年度目標値			365	365	366	365		
		実績値			365	365	366			
	単位	日	全体目標値			100.0%	100.0%	100.0%		
			全体目標達成度							
	年度別達成度	年度目標値								
実績値										
成果指標	観覧者数	年度目標値			3000	3000	3000			
		実績値			1994	1143	1271			
	単位	人	全体目標値			3000	3000	3000		
			全体目標達成度			66.5%	38.1%	42.4%		
	年度別達成度	年度目標値								
		実績値								
単位		全体目標値	全体目標達成度							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) B 2
	B 見直しのうえで継続 C 終了 D 休止 E 廃止	B 2 コスト削減・成果上昇 B 3 類似事業との統合 B 4 外部委託導入・拡大 B 5 受益者負担の適正化 B 6 終期設定 B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	通年開場しているにもかかわらず、観覧者数は少ない。多くの人に来てもらえる仕組み作りが必要である。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	平成24年4月1日から、観覧料を半額(一般100円)にするとともに、養翠園・和歌山城・旧中筋家住宅・市立博物館への一週間内の入場者は湊御殿入場料を無料にし、入場者増をはかっている。